

バイオハザード対策用クラスIIキャビネット

現場検査マニュアル

JACA No. 17-2021

公益社団法人 日本空気清浄協会
バイオハザード対策専門委員会

昭和58年8月1日制定
昭和63年11月1日改正
平成21年07月1日改正
令和3年11月8日改正

公益社団法人日本空気清浄協会は、日本工業規格「バイオハザード対策用クラスIIキャビネット JIS K3800:2021及びそれより前のJIS K3800」に合わせるため、現場検査マニュアルJACA No. 17Dを改定する。

目次

- 1. 目的
 - 2. キャビネットの検査
 - 2.1 検査の種類と現場検査の検査項目
 - 2.2 現場検査の概要
 - 2.3 現場検査の時期
 - 3. 現場検査の試験項目
 - 3.1 密閉度
 - 3.2 HEPA・ULPAフィルタ透過率
 - 3.3 前面開口部気流バランス
 - 3.4 平均吹出し風速
 - 3.5 平均流入風速
 - 3.6 前面パネル高さ位置の警報
 - 3.7 その他の検査
 - 4. 設置方法の適合性
 - 4.1 概要
 - 4.2 器具
 - 4.3 キャビネット設置状態の確認
 - 4.4 室内排気
 - 4.5 間接ダクト接続
 - 4.6 直接ダクト接続
 - 4.7 ダクトの必要条件
 - 5. 現場検査報告書
 - 6. 現場検査票
- 付属書
- A.1 現場検査に必須でないキャビネットの検査一覧
 - A.2 HEPA・ULPAフィルタ検査代替法
 - A.3 新たな平均流入風速代替測定法の提案
 - A.4 風量直接測定器の要求性能の適合性を確認する方法
 - A.5 クラスIIキャビネットの分類
 - A.6 ガスを用いる高感度漏れ検査法
 - A.7 キャビネットの製造根拠となったJIS K 3800と検査方法の問題